

2021年8月12日

各 位

会社名 株式会社ドラフト
 代表者名 代表取締役社長 山下 泰樹
 (コード番号 5070 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 荒浪 昌彦
 (TEL 03-5412-1001)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月12日に公表した2021年12月期第2四半期累計(2021年1月1日~2021年6月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期第2四半期累計の連結業績予想値と実績値との差異
 (2021年1月1日~2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,550	百万円 240	百万円 240	百万円 160	円 銭 17.30
実績値 (B)	3,551	458	460	282	30.59
増減額 (B-A)	1	218	220	122	13.29
増減率 (%)	0.0	91.1	91.8	76.9	76.8
(ご参考) 前期実績	-	-	-	-	-

(注) 当社は、前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年6月30日)と、比較対象となる前第2四半期(2020年4月1日から2020年9月30日)の期間が異なるため、前期実績は記載しておりません。

2. 差異の理由

当社グループは、企画・デザイン・設計・デザインビルド事業の単一セグメントです

が、その内容は、大きく「企画・デザイン・設計業務」「デザインビルド（企画・デザイン・設計からその実現（施工）までを一連のものとして実施する業務）」「その他（ブランドデザイン業務等）」に分類することができます。当第2四半期連結累計期間においては、利益率の高い「企画・デザイン・設計業務」において高収益の大型案件を計上した他、「デザインビルド」においても着実に利益を積み上げた結果、売上総利益が見通しを上回ることとなりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が想定以上に長引いたことから、当社グループのブランディングに関連する広告宣伝活動を第3四半期以降に持ち越した他、旅費交通費等の活動費も低水準となり、販売費及び一般管理費が計画を大きく下回りました。

この結果、売上高は想定どおりだったものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想を大きく上回ることとなりました。

以 上